



日本建築家協会(JIA)建築家クラブ金曜の会 トークイベント 【職人はいつから作業員と呼ばれるようになったのか】

久住 有生 氏

職人は本来クリエイティブな仕事である。技を積み、新しさを模索し、日々の作業の中で熟成させる。そしてそれを弟子たちが継承する。時間をかけて、創造の一部を一人ずつが担ってきた。しかし今多くの職人は、指定されたカタログの番号に従うだけである。そこに積み重ねた技や創意工夫を発揮させる必要はない。これは考える余地を与えなくなった事にも、職人側がプレゼンテーションしてこなかったことにも一因があると考えている。

腕の良い職人が居なくなろうとしている今、職人から見た建築現場について、左官の伝統的な側面と、新しく挑戦している面をふまえながら、お話出来ればと思う。

■講師プロフィール



久住 有生
くすみ なおき



1972年、兵庫県淡路島生まれ。

祖父の代から続く左官の家に生まれ、3歳で初めて鏝(こて)を握る。高校3年生の夏に、「世界を観てこい」という父の勧めで渡欧したスペインにて、アントニ・ガウディの建築を目の当たりにし、その存在感に圧倒され開眼、左官職人を目指す。日本に戻り、左官技術を学ぶべく18歳からさまざまな親方の許で、本格的な修行を始める。

1995年、23歳の時に独立し「久住有生左官」を設立。

重要文化財などの歴史的価値の高い建築物の修復ができる左官職人として、国内だけにとどまらず、海外からのオファーも多く、経験を積んできた。伝統建築物の修復・復元作業だけではなく、商業施設や教育関連施設、個人邸の内装や外装を手がけることも多い。

現場では企画段階から参加することが多く、デザイン提案なども積極的に行っており、伝統的な左官技術とオリジナリティ溢れるアイデアが、国内外での大きな評価につながっている。また、どの現場でもその土地の暮らしや自然を意識しながら、土や材料を選び、ときには地元の暮らしの調査をしてから工事に入るなど、それぞれの風土も大切にしている。

通常の仕事の他にも、日本の左官技術を広く伝えるべく、ワークショップや講演会を積極的に国内外で開催している。

- 日時:2015年4月17日(金)19:00-21:00 (18:30開場)
- 場所:日本建築家協会 JIA館1F建築家クラブ
渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291
- 主催:建築家クラブ運営WG、協賛:NPO建築家教育推進機構
- 参加費:1500円(学生1000円)飲食物代等
- CPD:認定プログラム ID:00117295 2単位
- 参加申込:誰でも参加可能です。JIA会員以外の方は氏名、所属、連絡先をご記入の上、下記まで申込みください。なお、事前申し込みが間に合わない場合、当日参加も可能です。
- 申込、問合せ:kinyonokai@gmail.com(クラブ運営WG:稲垣)
FAX:03-5950-0686 TEL:090-9958-8011(当日)

